

## (一社) 神奈川県建築士会DIG IN 湘南 活動レポート

### DIG体験ワークショップ

「災害を知る・地域を知る・人を知る〜いつきてもおかしくない大規模災害に備えて〜」

日時：2018年11月17日（土）13:30-17:00 会場：藤沢市役所

(報告者: 白田克雄・中村俊光)

2013年の神奈川県建築士会女性委員会・防災委員会「HUG(避難所運営ゲーム)ワークショップ」に始まる活動が、更に神奈川と千葉の建築士会女性委員会で展開し、2017年には茨城県で『HUG(避難所運営ゲーム)体験セミナー』がスタート、今回神奈川県建築士会防災委員会と建築士会女性委員会の熱心な提案に応じて「DIG体験ワークショップ」へもう一段ギアチェンジし、防災・減災に関するステップアップを目指すこととなった。

#### 《これまでの活動の流れ》

- ・2013年7月 神奈川「HUGワークショップ」 参加者39名 開港記念会館（横浜市）  
(キッカケは神奈川・浦 女性委員長よりワークショップの依頼あり実施)
  - ・2014年6月 神奈川「HUGワークショップ」 参加者60名 横須賀市文化会館  
(千葉・蕪理委員長・元木副支部長が参加、終了後千葉での協力要請があった。)
  - ・2015年1月 千葉「HUGワークショップ」 参加者50名 千葉県建築会館
  - ・2016年1月 千葉「CRG体験セミナー」 参加者48名 千葉県建築士会館  
(神奈川から東防災部長、女性委員ほか、計4名が参加)
  - ・2017年3月 千葉「DIG体験ワークショップ」 参加者40名 千葉県建築士会館  
(神奈川から茶谷女性委員会副委員長が参加)
  - ・2017年3月 神奈川「CRG体験セミナーIN大和」 参加者36名 大和商工会議所（大和市）  
(愛知県から数名が参加、千葉からも若干名参加)
  - ・2017年12月 茨城「HUGワークショップ」 参加者36名 茨城県開発公社ビル（水戸市）  
(千葉からの紹介で茨城・平沼女性委員長から依頼あり、水戸市役所の職員らも参加)
- ↓
- ・2018年11月 神奈川「DIG体験ワークショップ IN 湘南」 参加者29名 藤沢市役所  
(窓口の東防災委員長より依頼あり、湘南地区で初)

### ◆DIG体験ワークショップ開始

《開会あいさつ 神奈川県建築士会防災委員会 東 二郎委員長》



司会の川崎支部防災委員  
才上 政則氏



・最初は「HUG(避難所運営ゲーム)」を通じての女性委員会・防災委員会コラボセミナーで始まり、防災減災の取り組みを積み重ねてきた。

・次のステップとしてどう発展させるか、防災委員会と女性委員会の協同と、防災塾だるまからの協力を得て検討し、「DIG【災害図上訓練】」を湘南に位置する藤沢市役所で実施する体験コラボセミナーが実現した。今日は頑張りましょう。

## ◆DIG体験ワークショップの概要(白田リーダー)

白地図を使って自分たちの住むまちの防災対策を検討する訓練で：

- ・参加者が大きな地図を囲み、みんなで書き込みを加えながらワイワイと楽しく議論をしていきます。その中であなたは、あなたと家族が住む地域に起こるかもしれない災害を「見える化」し、より具体的なものとしてとらえることができます。
- ・DIGのポイントは雰囲気作りと「健全な大ざっぱさ」  
・・・決まったルールはありません。
- ・想像力を高めて「もしも」に備える！  
・・・DIGの成果は『気づく(発見)とまちを知る』です。



硬い表情？  
1分超過

## ◆DIGの目的



## ◆DIGワークショップの構成

(1)DIGの説明(13:35-13:45 白田リーダー)

(2)アイスブレイキング(13:45-14:00)

- ①ファシリテーター(進行役)を決める
- ②自己紹介
- ③リーダー兼発表者・書記を決める



## ◆DIGの実践(14:00-16:55 中村俊光講師)

グループ発表・論議・講評

ワークショップは中村俊光コーディネーターの采配に従って進行しました。



アイスブレイキングの様子



いよいよエンジンが  
掛かってきた

### (3) 中級編・応用編(前半)

**【ステップ2】 = 自分たちの住むまちに襲いかかる外力を理解し、  
想定されるまちの被害を検討する =**

・【ステップ1】で基本情報が「見える化」された地図に重ねたビニールシートの上に、それぞれの地域で想定される被害をカラーペンで色分けして書き込んでいった。

(例) 火災=赤、建物=オレンジ、がけ崩れ=茶、液状化=青 など

・その他想定される被害及び事柄を抽出、「どこで」「どのようなことが」起こり得るか、想定できる限り洗い出し、付箋紙で地図に貼った。



全員で話しながら  
情報を書き込む

- ・茅ヶ崎市中央部が直下型地震に襲われ、広域で甚大な被害が発生したとの想定で、参加者が住むまちでどのような被害が発生するかを検討して地図上に「見える化」した。
- ・安全な避難場所・避難ルートが確保できるか、どのような問題があるかを論議し、「見える化」して共有した。

(例) 避難場所の位置、危険施設の存在、避難ルート上の渋滞や道路損害、行政機能停止、要援護者、帰宅困難者等。



もう立ち上がっ  
て熱心に！

### 休憩 (15:10-15:25)

お茶とお菓子でリフレッシュ、前半を終え話がはずむ。

「見える化」された地域の被害想定を前に、リラックスして意見交換、後半に向けてグループの一体感と集中力が更に充実した。



### (4) 中級編・応用編(後半)

**【ステップ3】 = 地域で起こり得る被害への対策を検討する =**

・住宅密集地域での火災被害、建物や構造物の倒壊、狭隘な道路、深刻な社会インフラの被害などの困難な状況がある中で、どのようにして安全な避難場所へのルートを確認するかを論議。

・「地域の防災や災害救援についてのプラス要素・マイナス要素」を整理して、「別紙(グループ別発表資料)」にまとめた。



今後の活動に活かして  
いきたい！

しかし折角できたマップ

課題：まち歩きでこのマップを現地で確認する活動ができるか？

そして地元の住民で共有できるか？(町民の地区防災計画策定につながるか？)

各地図が南北につながっている。  
なるほど！

各ブロックの出来上がった発表ハザードマップ

(5) 評価・検証 (グループ発表・討論・講評)

【ステップ4】 = 訓練を通じての「気づき(発見)」を共有する =

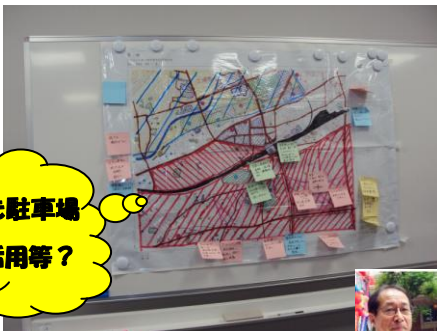
- ・出来上がった地図と「別紙(グループ別発表用資料)」を使って、各グループの発表者が「地域の防災力の長所(強み)と短所(弱み)」「地域で起こり得る被害への対策」「今後の課題」を発表し、各地域の特徴が浮き彫りとなった。
- ・講師や参加者も加わって論議することで、さまざまな「気づき」が共有された。

・グループリーダーの発表

・講師によるコメント

鋭い指摘  
もあり

・参加者からの講評・質問・指摘



空き駐車場の活用等？

・茅ヶ崎地区丹治氏の発表



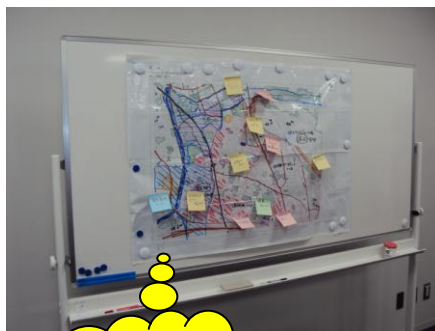
・円蔵地区福田氏の発表



指摘に謙虚に応じる



・真剣に発表を聴き入っている参加者



土地の高低差が問題等



・香川地区春日氏の発表

発表慣れしている様子が垣間見える

《閉会あいさつ》

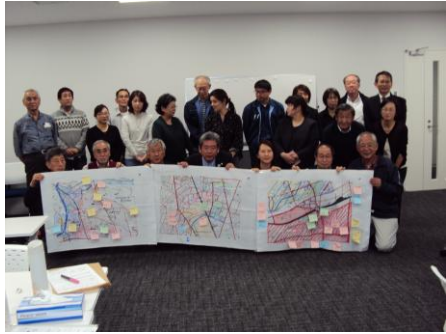
女性委員会 茶谷 亜矢委員長より

「『気づき』を大切に、今後の活動に活かしていきたい。」





みんな笑顔で  
またの機会に！



全員集合：ワークショップを終えて記念写真 晴れ晴れと！

■中村講師まとめ ～ ワークショップを終えて

避難所運営ゲーム(HUG)・クロスロードゲーム(CRG)・災害図上訓練(DIG)等々、防災シミュレーションゲームには色々ありますが、HUG・CRGは自分本位、自分の考えを発信してゲームを進行していきますが、DIGについては「ゲーム」というより地域を知る・まちを知る、自分が住んでいる場所に関わり、起こりうる災害を知ると言う「勉強」になるのかな、と考えています。

毎回、DIG を開催する地域の特徴が可視化され、新しい発見があったり、「気づき」があったりと講師としてゲームを進行しながら、別の意味でワクワクしながら見えています。

今回の DIG もワクワクする一日となりました。一つの机を囲んで頭がぶつかりそうな距離で、あーだ・こーだ・そーだ、等々全員参加で作上げた地域図には拍手を送りたいと思います。

時間の過ぎるのを忘れる DIG となりました。皆さんお疲れ様でした。そしてありがとう御座いました。



■白田リーダー所感

今回で神奈川県建築士会のワークショップは4回目(茅ヶ崎市が対象)となった。ファシリテーター役の人が慣れもあり、参加者全員がワークショップにおける姿勢も、真摯に和やかに展開されていて、好感をもたれたセミナーであり、特に各ブロック3人の発表者のコメントが適切であり、ユーモアを交え硬くならずに進んでいた。また参加者からの鋭い指摘(地域に存在する化学工場等の有無等)を謙虚に応じた姿に、神奈川県で続けてきて良かったと感じた半日であった。

HUG, GRG, DIGという防災シミュレーションゲームは一通りこなし、今後は各地でどう展開して行くのか、地元の自治体職員や町内会関係者、学校関係者、生徒を交えたワークショップも立場が異なる人達で実施したらまた違うものになるかもしれない。今回茅ヶ崎市長選挙(18日)のため市役所職員が参加しなかったことは残念であった。

防災・減災の輪をどう広げてゆくのか。今日(11月19日)の新聞に地区防災計画 町内会単位で立案(3,600地区以上)という記事が載っていた。(ちなみに横浜市だけで自治会・町内会数は現在2,864か所)

最後に終了後、懇親会にお誘いをして頂き、楽しいひと時を過ごさせていただき有難うございました。